



# ぱらっと

No.21

'11冬

E-mail

イベント・セミナー・募集・助成金情報は <http://naganoshimin.naganoblog.jp/>

[npo@nagano-shimin.net](mailto:npo@nagano-shimin.net)

長野市市民公益活動センター 〒380-0835 長野市新田町1485 (もんぜんぶら座3F) TEL. 026-223-0051 FAX. 026-223-0052



世代を超えた交流を楽しむ



NPOカフェ

## まんまる開店

気軽に情報交換を通して、NPO同士の交流を深めていただきたい、そんな思いからスタートした交流会NPOカフェ「まんまる」。以前から、交流会の開催を求める声が多かったこともあり、初回からたくさんの方に参加いただきました。

参加者の活動分野は様々で、自己紹介の場面では、それぞれのユニークな活動に興味津々でした。各回、テーマを絞った意見交換形式で進行。初回は、「最近気になるNPO」がテーマ。若者が活躍するいくつかのNPO団体が話題に上る中、一方で居場所のない若者も増えているという意見も出されました。今後NPOカフェ「まんまる」のように、そういった両者のつながりも含め、人と人が気軽に出会える場の必要性を痛感しました。2回目は、「復活させたもの、伝えたいこと、残したいもの」がテーマ。参加者の年齢層が幅広かったこともあり、他の世代の意見に興味を持つ方が多く、今後もいろんな世代との交流の場にして欲しいとの声も多く聞かれました。普段は接する機会のない、異世代や他分野の方たちとの交流を通して、刺激を受け、それぞれが新たな学びを得て、新しい自分の居場所を発見できる、そんなふれあいの場を目指していきたいと思っています。皆さんも、是非一度、NPOカフェ「まんまる」に足を運んでみてください。お待ちしております。

## 広報・広告講座

### お知らせ上手になるために

人にものごとを正確に伝え、理解を得る。そして、賛同してもらい、協力・協働に発展して、事業が広がっていく。これは、理想です。

しかし、実際には、「キチンと伝える」ということは、大変難しいことです。

そこで、上手な伝え方のコツです。まず最初にあなたの団体の商品やサービスの情報を正確に相手に伝えるには、どんなことに気をつけたらよいのか考えてみましょう。

例えば、3歳ぐらいの子どもと話をする機会があったとします。あなたは、しゃがみ込んで子どもと視線を合わせ、「私は○○です。○○に住んでいます。得意なことは○○で、夢は○○です。何歳ですか?」とやさしい言葉でわかりやすく語りかけるはず。つまり、誰もが理解できるように、最初に自分の団体の名前やミッションを明らかに

しましょう。次に、相手の状況や立場を考え、自分たちの主張や目的、ここまできた背景、状況などを順序良く、簡単、明瞭に伝えます。

また、自分たちが、どのように見られているのか。そして、これから先どのように見られたいかも考慮してみましょう。

「誰に、何を伝えるか。」NPO(公益活動団体含む)の場合、広く、多くの人に伝えるには、広報誌や機関紙、会報、チラシなどが便利です。

また、ホームページやブログ、メールマガジンなどは、比較的安価に新鮮な情報を配信することができるので、お勧めできる伝達方法です。

情報も鮮度が大切です。新しい情報が毎日発信されれば注目度も高くなり、広報力のアップにつながります。

## 広報

企業や行政や各種団体(N

PO法人も含む)の活動内容や商品などの情報を広報誌や機関紙、会報などに乗せ配布し、活動の内容を理解してもらうこと、それらの情報を発信することで新聞やテレビに記事として取り上げてもらい広く伝えることです。

その最大の特徴は、お金を支払う必要のない宣伝です。ただし、その情報を取り上げてくれるかどうかはマスコミ側(相手側)が決めるということが、広告との違いです。

では、どのようにして情報を発信していくかですが、まずは資料作り(プレスリリース)です。伝えたいことをできるだけ簡単、明瞭に、そして、インパクトのある表現で作ってみましょう。

次に、積極的に記事として取り上げてくれそうなマスコミに、その資料などをFAXやメールで送信することです。マスコミが興味をもってくれれば、マスコミの側から、問い合わせや取材の連絡が入ります。その情報に価値があるか、ないかが、マスコミに

### ◆明日から役に立つ NPOステッパアップ 講座開催中

NPOの役員などを対象に即実践につながる知識やスキルを学ぶ本講座。

V. マネジメント代表の松本修一講師を迎えて第2回は、「地域づくりのための組織ビジョンをつくる」をテーマに、運営マネジメントの講義が行われました。2日間にわたる研修では、マネジメントに関する基礎知識を踏まえて、それを基に自身が所属する団体の5年後を見据えて、「戦略シート」を作成しました。「こうする」と決めて必ず実行することが大事とのこと



でした。

第3回目は、笑顔せたがやの山崎富一講師から、組織ビジョンやニーズに沿った企画・プログラムの立案ポイントを演習も交えて学びました。個人ワークの後はその企画案に対して参加者同士がアイデア・意見交換し、さらにブラッシュアップを図るプロセスを経験しました。「あれもこれも」にならず「絞る」ことが重要なとのアドバイスでした。

決して簡単とは言えなかった今回の講座ですが、アンケートでは「理解度」「満足度」「役立ち度」、すべてで参加者の評判は上々。今後も皆さんの活動に一役かえればと思います。



## チラシの上手な作り方

よいデザインとは、そのチラシを見る人の立場に立って、読みやすく、分かりやすいレイアウトになっているかがポイントです。

- ◆いちばん大切なことは、大胆に大きくする。
- ◆情報はコンパクトにまとめて、メリハリをつける。余白も大切。
- ◆アイコン（目印となるマーク）があると、覚えやすく整理しやすい。
- ◆写真やイラストがあると、文章だけよりわかりやすい。
- ◆行間がつまんでいると読みにくい。ほどほどあけると読みやすい。
- ◆書体はたくさん使いすぎないほうがスッキリして見やすい。
- ◆情報は囲んだり、線で分けると整理しやすい。
- ◆用紙のスペースに合わせて、右寄せ、左寄せ、中央そろえなどを活用。
- ◆団体のアイデンティティを表現する色をメインカラーに。
- ◆色の使いすぎは逆効果。紙の色との相性も考えた配色に。

電通 + NPO広報力向上委員会 伝えるコツ より

## 広告

乗るか、乗らないかの分かれ目になります。

広告とは、広告主（企業・NPO・個人）が所定の人々を対象にして、商品・サービスなどについての情報を宣伝することです。

のほ、管理不可能な広告、パブリシティ（マスコミが主体性をもち、その責任において発信される商品やサービスの情報：無料）と区別をするためにあえて入れました。

ここで、マスコミについて少し触れておきましょう。

マスコミとは、新聞・テレビ・ラジオ・雑誌の四媒体のことをいいます。その他の媒体はマスコミとは言わないのです。

その他の広告としては、

- \* 屋外広告：看板・電光掲示板・電柱広告など
- \* 交通広告：駅広告・車内吊り広告・バスボディ広告など
- \* SP（セールスプロモーション） 関連媒体：チラシ・ダイレクトメール・POP・ノベルティグッズなど
- \* インターネット広告：バナー広告などです。

通常は、目的や対象によって使い分けれます。

2012年1月～3月

## ぷらっとスケジュール

タイトル	日	時	内容
<b>NPO初歩講座</b> ～きほんのき	1月17日(火) 2月14日(火) 3月22日(木)	15:00～17:30 10:15～12:30 13:30～16:00	好評いただいているNPOについての入門講座。毎回ゲストに、市内NPO法人を招いて生の声を聞いています。
<b>NPOステップアップ講座</b> ～まちづくり活動補助金に応募してみよう!!	1月12日(木) 1月13日(金) 1月14日(土)	19:40～20:30 19:40～20:30 15:10～16:00	助成金申請のための、事業計画書の書き方、予算、自己資金の確保の方法などをアドバイス。ながのまちづくり活動補助金説明会と同日開催。
<b>広報広告のいろは</b> ～お知らせ上手になるう!!	1月28日(土) 2月26日(日) 3月20日(祝)	10:30～12:30 13:30～15:30 15:30～17:30	団体のミッションや活動内容を正確に相手に伝えるにはどうしたらよいか。チラシ作成なども含めた広報広告について。
<b>ブログ講座</b> ～気軽に“ナガプロ”はじめよう!!	1月10日(火) 2月10日(金) 3月10日(土)	14:00～16:00 14:00～16:00 10:30～12:30	ブログって何？まずはブログについての理解から。ナガプロを使っただけの情報発信を目指した、全3回の連続講座。

※詳しくは、市民公益活動センターまでお問い合わせください。

NPOカフェ **ましまる** 好評開催中!!  
今後のスケジュール

1月17日(火) 18:30～20:30  
2月 ≪センターを飛びだし、おでかけまんまる企画中!≫  
3月20日(火) 18:30～20:30

Pick up! NPO!

～フレッシュな団体を紹介します～



思いおもいにビーズで飾る  
(ワークショップにて)

今年20代の女性アーティスト、最近になってキャンバスにビーズを使って描画する作品を生み出している。東京や安曇野での個展を開くなど精力

最初はホームシックになった

この日、集まった8名のメ

026-2388-4144

善光寺近くの空き家  
に芸術家を招き、創作  
に力を注いでもらう。

今年20代の女性アーティスト、最近になってキャンバスにビーズを

的に活動中だ。長野には十数年前、亡き祖母と家族旅行で訪れて以来だという。「善光寺のお戒壇めぐりで、時間の感覚も方向感もなくなる漆黒の闇の世界を再び体験した。現実とつながるのは、極楽浄土の扉へと導く右手だけ」。今回2カ月の滞在期間中、毎日善光寺に通った。そこから受けたインスピレーションを制作のモチーフに、11点の作品を完成させた。余計なことを考えずに、創作に没頭できた。

この日、集まった8名のメンバーは、城跡図の確認と城跡に設置する看板の位置をどこにするか、看板の紹介文の表現はこれでいいのか、と熱心に討議を重ねていた。

026-2388-4144

長野に新しい芸術の息吹を

アーティスト・イン・レジデンスin善光寺界隈実行委員会

善光寺近くの空き家  
に芸術家を招き、創作  
に力を注いでもらう。

今年20代の女性アーティスト、最近になってキャンバスにビーズを

的に活動中だ。長野には十数年前、亡き祖母と家族旅行で訪れて以来だという。「善光寺のお戒壇めぐりで、時間の感覚も方向感もなくなる漆黒の闇の世界を再び体験した。現実とつながるのは、極楽浄土の扉へと導く右手だけ」。今回2カ月の滞在期間中、毎日善光寺に通った。そこから受けたインスピレーションを制作のモチーフに、11点の作品を完成させた。余計なことを考えずに、創作に没頭できた。

この日、集まった8名のメンバーは、城跡図の確認と城跡に設置する看板の位置をどこにするか、看板の紹介文の表現はこれでいいのか、と熱心に討議を重ねていた。

026-2388-4144



白熱した議論を交わす参加者

11月28日、研究会の拠点である長沼支所を訪ねた。同研究会は、「今、蘇（よみがえ）る長沼城〜歴史が感じられる街づくり〜」を

川中島の戦いの頃、武田氏や上杉氏によって幾度も改造が行われたという。以後様々な変遷をたどり、長沼藩として

この日、集まった8名のメンバーは、城跡図の確認と城跡に設置する看板の位置をどこにするか、看板の紹介文の表現はこれでいいのか、と熱心に討議を重ねていた。

026-2388-4144

歴史が感じられる街づくりを目指して  
長沼歴史研究会

11月28日、研究会の拠点である長沼支所を訪ねた。

長沼城は、鎌倉時代の地頭

この日、集まった8名のメンバーは、城跡図の確認と城跡に設置する看板の位置をどこにするか、看板の紹介文の表現はこれでいいのか、と熱心に討議を重ねていた。

026-2388-4144